

教科	国語	科目	国語表現	学年	3年(普通科 探究類型 文系 選択)	単位数	2
教材	教科書	国語表現 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	プライム常用国語(第一学習社)					

学習の目標	1 国語を的確に理解し適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めます。 2 表現活動を通して自分の考えを深め、目的に応じた適切な表現ができる言語感覚を磨きます。 3 言語に関する知識を学び、言語文化への関心を深めます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1部 表現力を培う 1 書いて伝える	○原稿用紙の使い方、文章表現のきまりについて理解します。	中間考査 期末考査
	5月	2 小論文・レポート入門	○主題文を作成し、意見を明確にした上で書き始められるようにします。	
	6月	3 自己PRと面接	○小論文の構成について理解し、論理的文章力を高めます。	
2 学期	7月	3 自己PRと面接	○面接の注意事項について正しく理解し、模擬面接を通じてその技能を身に付けます。	中間考査 期末考査
	8月	4 メディアを駆使する	○ネットやメディアとどう関わり、利用するのか理解します。	
	9月	5 声とコミュニケーション	○音声言語を用いた表現の楽しさと難しさについて理解し、その方法を学びます。	
	10月	6 会話・議論・発表	○効果的なコミュニケーション技能を身に付けます。	
	11月	6 会話・議論・発表	○いろいろな議論の方法を学び、実際に行う際、表現に求められるものを理解します。	
3 学期	12月	6 会話・議論・発表	○プレゼンテーションの実践を通じて、情報の受け手に対して意識すべき事やその方法について理解します。	学年末考査
	1月	第2部 表現を楽しむ 1 言葉で遊ぶ 8 エッセイを書こう	○回文やしりとりなど、昔からあった言葉遊びを通じて、その面白さや言葉の可能性について感じます。	
	2月	8 エッセイを書こう	○日常を書く行為によって切り取り、保存する行為の楽しさを感じます。	
3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、小テスト・課題やノートなどの提出物・授業態度などを考慮して総合的に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業には真剣に取り組み、与えられた課題に意欲をもって取り組みましょう。 2 提出物は期限を守って必ず提出しましょう。 3 進路実現のために、小論文や作文を書くことができるようにしましょう。
-----------	--

教科	国語	科目	現代文B	学年	3年(普通科 探究類型)	単位数	3
教材	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B			出版社名	第一学習社	
	副教材	常用漢字クリア (尚文出版)					

学習の目標	1	近代以降の様々な文章を読み、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成します。
	2	ものの見方や感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって人生を豊かにする態度を養います。
	3	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ章 世界を見つめる	○随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ります。	中間 考查 期末 考查
	5月	新しい視点 小説を読む (一)	○筆者の体験を追体験することで、現代社会について考える糸口とします。	
	6月		○論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉えます。	
	7月		○虚構性に注意して小説を読み、そこに描かれた世界を的確に捉えます。	
		詩を味わう	○詩を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養います。	
2 学期	8月	新しい視点	○筆者の主張を参考にしながら、日常生活で起こる関連性について考えを深めます。	中間 考查 期末 考查
	9月	生への模索	○文章全体をよく読み、その論理的な構造と論旨の展開について把握します。	
	10月	小説を読む (二)	○文章全体の論理的な枠組みを理解します。	
	11月		○小説を読む楽しみをかみしめ、より深い鑑賞力と読解力を身に付けます。	
	12月		○主人公が、苦悩し、自分の過去を振り返り、その原因を求めていく過程を把握します。	
3 学期	1月	詩を味わう	○詩を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養います。	学年末 考查
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的・課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。				
学習へのアドバイス	1 授業の予習と復習を必ず行いましょう。 2 指示を聞いて集中して授業に臨みましょう。 3 小テストや定期考查の準備を十分に行いましょう。				

教科	国語	科目	古典B	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	4
教材	教科書	新編 古典B 言葉の世界へ			出版社名	教育出版	
	副教材	これからの古典文法〔改訂版〕(尚文出版)、短期集中シリーズ 漢文ノート(桐原書店)					

学習の目標	1 古典を読む力を高め、古典についての理解や関心を深めます。 2 古典を読んで、そこに表れた思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにします。 3 我が国の伝統的な文化の特質について理解を深めます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月	古文編 II部 一 随筆と日記	○平安時代の生活に理解を深め、作者のものの見方や感じ方を理解します。	中間 期末 考查
	5月	漢文編 II部 一 三国志の英雄たち	○登場人物の人物像や性格を読み取り、中国の史伝の面白さを味わいます。	
	6月	古文編 II部 二 物語(一)	○登場人物の人物像を読み取り、語り手の立場を正しく捉えます。	
2学期	7月	古文編 II部 二 物語(一)	○登場人物の人物像を読み取り、語り手の立場を正しく捉えます。	中間 期末 考查
	8月	古文編 II部 五 評論	○様々な評論を読み、古人のものの見方・感じ方・考え方を知り、我が国の伝統と文化について理解を深めます。	
	9月			
	10月	漢文編 II部 三 刺客荆軻	○史伝作品の読解を通して、漢文に慣れ親しみ、古代中国の人のものの見方や考え方を読み取ります。	
3学期	11月	古文編 II部 四 物語(二)	○『源氏物語』の作品世界に触れて、古典に親しむ態度を養います。	学年末 考查
	12月			
	1月	古文編 II部 五 評論	○様々な評論を読み、古人のものの見方・感じ方・考え方を知り、我が国の伝統と文化について理解を深めます。	
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、小テスト・課題やノートなどの提出物・授業態度などを考慮して総合的に算出します。				
学習へのアドバイス	1 予習をしっかりと行って授業に臨みましょう。 2 主体的・計画的に学習に取り組み、自らの考えを深めましょう。 3 小テストや定期考查の準備を十分に行いましょう。				

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	4
教材	教科書	詳説日本史B 改訂版			出版社名	山川出版社	
	副教材	最新日本史図説(第一学習社)、要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)					

学習の目標	1 日本の歴史を様々な観点の背景から考察することによって、問題点を多角的に捉える力を養います。 2 過去の日本の歩みを反省することによって、これからの日本人としての在り方を考えます。 3 政治、経済、文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	○公武合体、尊王攘夷、倒幕の動きに着目して、権力構造の変化を学びます。	中間考査 期末考査
	5月	1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争	○廃藩置県・徴兵制・殖産興業政策などに着目して、明治政府が中央集権体制を構築していく過程を学びます。	
	6月	4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	○国会開設要求の運動などに見られる国民の政治的関心の高揚と挫折の過程について学びます。	
	7月	第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本	○第一次世界大戦が日本の社会経済や政治	
	8月	2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代	に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて学びます。	
	9月	5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	○日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について学びます。	
2 学期	10月	第11章 占領下の日本 1 占領と改革	○GHQによる諸政策が、対日占領政策に基づくとともに、日本の国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことについて考えます。	中間考査 期末考査
	11月	2 冷戦の開始と講和		
	12月	第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	○独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過について学びます。	
	1月	第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺	○第二次世界大戦後の民主化と復興、国際社会への復帰、経済の発展と現代の日本について世界の動向と関連付けて考察するとともに、わが国の課題と役割について学びます。	
3 学期	2月			学年末考査
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史について基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に判断します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の前に教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。丁寧なノートは見やすく、頭に入りやすいです。 3 各単元ごとの確認テストで、日本史における基礎的・基本的語句を確認しましょう。
-----------	--

教科	公民	科目	政治・経済	学年	3年(普通科 探究類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 新政治・経済			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新政治・経済資料集2023(第一学習社)、ワークブック政治・経済(愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めます。 2 現代における政治、経済、国際関係について客観的に理解します。 3 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育みます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法	○民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解します。 ○日本国憲法の成立過程を把握するとともに、基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を学びます。	中間 考查 期末 考查
	5月			
	6月	第2章 現代の国際政治と日本	○国会、内閣、裁判所などの政治機構に触れながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解します。 ○国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解します。	
	7月			
2 学期	8月	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済	○冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界がどのように変化したのか理解します。 ○資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代政治の特質について理解します。 ○国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較します。 ○国際経済に関する基本的な概念や理論を理解します。 ○為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解します。	中間 考查 期末 考查
	9月			
	10月			
	11月			
3 学期	12月	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	○現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、様々な角度から考え、客観的な立場に立って望ましい解決の在り方を考えます。	学年末 考查
	1月			
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の方法	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を探究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断してその過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞やニュースなどで、時事問題に興味・関心をもちましょう。			

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	2
教材	教科書	改訂版	新編 数学Ⅱ	出版社名	数研出版		
	副教材	改訂版	基本と演習テーマ 数学Ⅱ+B (数研出版)				

学習の目標	1 微分法と積分法についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第6章 微分法と積分法	○微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができるようにします。 ○導関数を応用し、接線の方程式が求められるようにします。 ○導関数を用い、関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくことができるようにします。	中間考查
	5月	第1節 微分係数と導関数		
	6月	1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式		
2 学期	7月	第2節 関数の値の変化	○不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めることができるようにします。 ○定積分を用い、直線や関数のグラフで囲まれた部分の面積を求めることができるようにします。	期末考查 中間考查 期末考查
	8月	4. 関数の増減と極大・極小		
	9月	5. 関数の増減・グラフの応用		
	10月	第3節 積分法		
	11月	6. 不定積分 7. 定積分		
3 学期	12月	8. 定積分と図形の面積	○問題演習を通し、微分・積分についての理解を深めます。	学年末考查
	1月	問題演習		
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	微分・積分の考え方に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、微分・積分における数学的な見方や考え方を身に付けている。	微分・積分において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	微分・積分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	--

教科	数学	科目	数学B	学年	3年(普通科 探究類型 文系 選択)	単位数	2
教材	教科書	改訂版	新編 数学B	出版社名	数研出版		
	副教材	改訂版	基本と演習テーマ 数学Ⅱ+B (数研出版)				

学習の目標	1 平面上のベクトル、空間ベクトル、数列についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	○平面上におけるベクトルの基本的な内容を理解し、その演算ができるようにします。	中間考查
	5月			
	6月	第2節 ベクトルと平面図形	○位置ベクトルを理解し、図形への応用ができるようにします。	
2 学期	7月	第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列	○数列の基本的内容や等差数列、等比数列の一般項やその和を理解し、その活用ができるようにします。	期末考查
	8月			
	9月	第2節 いろいろな数列	○様々な数列について理解し、その活用ができるようにします。	
3 学期	10月			中間考查
	11月	第3節 数学的帰納法	○漸化式や数学的帰納法について理解し、その活用ができるようにします。	
	12月	第2章 空間ベクトル	○空間におけるベクトルの基本的な内容を理解し、その活用ができるようにします。	期末考查
3 学期	1月			学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	数列及びベクトルに関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列及びベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	数列及びベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数列及びベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考え、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	--

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	1
教材	教科書	高等学校 改訂	生物基礎	出版社名	第一学習社		
	副教材	クリア生物基礎 (第一学習社)、生物基礎実験ノート・問題集 (高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1章 生物の特徴	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習を行います。	中間 考 査
	5月	2章 遺伝子とその働き		
	6月	3章 生物の体内環境		
	7月			
2 学期	8月	4章 バイオームの多様性と分布	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習を行います。	中間 考 査
	9月			
	10月			
	11月			
3 学期	12月	5章 生態系とその保全	○総合問題演習を通して2年次の学習内容の復習を行います。	期 末 考 査
	1月			
	2月			
	3月			学 年 末 考 査

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	生物や生物現象に関わり、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	理科の見方・考え方を働かせ、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	日常生活や社会との関連を図りながら、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行いましょ。う。 3 定期考查には全力で臨みましょう。
-----------	---

教科	理科	科目	地学基礎	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	1
教材	教科書	地学基礎 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	地学基礎新訂版演習ノート(実教出版)、改訂版リードLightノート地学基礎(数研出版)、地学学習帳(高教研理科部会地学部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら、地学の基本的な概念や原理・法則を学びます。 2 現代社会に見られる環境問題に対して、地学的に探究する態度と能力を身に付けます。 3 対話的な活動を通して、主体的に課題に取り組み、他者の意見を尊重する態度を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 1章 地球の構成と運動 1節 地球の形と大きさ 2節 地球の内部構造	○ 問題演習を通して2年次の学習内容の復習をします。	中間 考査
	5月 3節 プレートの運動 4節 火山と地震		
	6月 2章 地球の変遷 1節 地層と化石		
	7月 2節 古生物の変遷と地球環境		
2 学期	8月 3章 大気と海洋 1節 大気の構造と運動 2節 大気の大循環	○ 問題演習を通して2年次の学習内容の復習をします。	中間 考査
	9月 3節 海洋の構造と海水の運動		
	10月 4章 太陽系と宇宙 1節 太陽系の中の地球 2節 太陽とその進化		
	11月 3節 宇宙のすがた		
12月 5章 地球の環境 1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	○ 問題演習を通して、2年次の学習内容の復習をします。	期 末 考 査	
1月			
2月			
3 学期	3月		学 年 末 考 査

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
評価の方法	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、事前の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 授業には集中して臨みましょう。その日のうちに復習をするとよいです。 2 復習に力を入れて、知識の定着を図るとともに、定期考査に全力で取り組みましょう。 3 分からない点については、科目担当の先生に積極的に質問しましょう。
-----------	--

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。 2 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高めます。 3 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。 ○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。 ○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	
	5月	2 陸上競技		
	6月	3 球技Ⅰ		
	7月	4 体育理論		
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。 ○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	
	9月			
	10月	6 陸上競技		
	11月	7 球技Ⅱ		
	12月	8 体育理論		
3 学期	1月	9 球技Ⅱ	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
評価の観点	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の強力的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするために各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点で総合的に評価します。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することによって行います。			
学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図りたくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。			

令和5年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年	3年(普通科 探究類型)	単位数	4
教材	教科書	New Discovery English Communication III		出版社名	開隆堂		
	副教材	コーパス3000 (東京書籍) スクランプル英文法・語法 Basic (旺文社)					

学習の目標	1 英語を読んで、情報や書き手の意向を理解する力を養います。 2 読んだ内容について、相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けます。 3 英語学習を通して、日常的な話題等に関する自分の意見を英語で表現する態度を身に付けます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 Lesson 1 Festival in the World!	○各国のお祭りを通して、異文化理解を深めます。	中間考査 期末考査
	5月 Lesson 2 One Red Paper Clip	○カナダの青年の物語を通して、英字新聞の文体を読み取ります。	
	6月 Lesson 3 Mother to Birds	○オーストリアの動物行動学者の代表的な研究「刷り込み」を読みます。	
	7月 Lesson 4 The 20-Second Rule	○日常生活の様々な場面で役に立つ「20秒ルール」はどのようなものか読み取ります。	
2学期	8月 Lesson 5 That Night Changed My Life!	○一夜にして時の人となった英国の歌手の苦難の生活を読み取ります。	中間考査 期末考査
	9月 Lesson 6 How to Build a Dinosaur	○古生物学者のプレゼンテーションを通して、恐竜を現代によみがえらせることができるか読み取ります。	
	10月 Lesson 7 Hot Lunches in Mumbai	○インドの弁当配達人の驚異的なシステムとはどんなものか読み取ります。	
	11月 Lesson 8 Saving Orphaned Animals	○ケニアで動物の孤児院を運営するダフネ シェルドリックの活動を読み取ります。	
3学期	12月 Lesson 9 What is Needed for Success?	○カナダのアイスホッケー選手、モーツァルト、ビートルズ、ビル・ゲイツの例を基に、成功に不可欠な要素を探ります。	学年末考査
	1月 Lesson 10 Amazing Grace: Song to Soul	○「Amazing Grace」の歌詞誕生に秘められたエピソードを読み、人権の大切さを学びます。	
	2月 3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	英語を読む活動を積極的に 行い、内容についても積極 的にコミュニケーションを 図ろうとする。	自分の解釈が聞き手に 伝わるように適切に英語 で表現する。	様々なジャンルの英語を 読んで、必要な情報や相手 が伝えたいメッセージを理 解する。	学習の内容の語彙が身 に付き、論旨の展開が理 解できる。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、授業に取り組む態度・小テスト・課題等を考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習、復習を自主的に行い、積極的に音読や辞書を使った学習をしましょう。 2 板書事項は確実にノートに書き留め、重要事項が分かるようなノートを作成しましょう。 3 リズムやイントネーションに注意して何度も音読し、基本的な語彙を身に付けましょう。
-----------	---

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年	3年(普通科 探究類型 文系)	単位数	4
教材	教科書	Revised BIG DIPPER English Expression Ⅱ			出版社名	数研出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理的に書く能力を養います。 3 日常的な話題について、自分自身の考えなどを整理して英語で発表する姿勢を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 PART 1 Lesson 17 ~ 19	○効果的なノートの作成をペアで考えて発表します。 ○仮定法の表現を使って表現します。 ○人造人間がいれば、どんな願いをするのかを考えます。 ○スマートフォンについて考えます。 ○生徒会について考え、積極的に参加するにはどうすればよいのか考えます。 ○環境問題について、グループで考え、発表します。 ○好き嫌いの表現を学び、お互いの好き嫌いを発表します。	中間考查
	5月		
	6月 Lesson 20 ~ 22		
2学期	7月 PART 2 Lesson 1 What's Your Favorite Dish?	○勧誘・招待・期待の表現を学びます。 ○希望・欲求の表現を学び、お互いの夢を発表します。 ○計画・意図の表現を学びます。 ○義務・必要の表現を学びます。 ○程度や譲歩の表現を学び、スピーチ原稿を作成します。 ○依頼・要請の表現を使って発表します。 ○許可を求める表現を使って発表します。 ○原因・理由、目的の表現を使って英語の必要性を発表します。	期末考查
	8月 Lesson 2 A Guitar Concert		
	9月 Lesson 3 Uniforms of Casual Clothes?		
	Lesson 4 Studying Abroad		
	10月 Lesson 5 After School		
	Lesson 6 A Korean Drama		
3学期	11月 Lesson 7 Going Bird Watching	○感謝・喜びの表現を使って発表します。 ○謝罪の表現を使って発表します。	中間考查
	12月 Lesson 8 Meeting the Deadline		
	Lesson 9 Why Do We Study English?		
	12月 練習問題		
	1月 Lesson 10 Friendship Festival		
2月 Lesson 11 Returning a Magazine	学年末考查		
3月			

	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の観点	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 予習、復習を行い、積極的に声に出して音読しましょう。 2 板書事項は確実にノートに書き留め、重要な所が分かるノート作りをしましょう。 3 表現に必要な基本的な語彙、語法、構文を身に付けましょう。			